

黒羽地区の冬の風物詩

黒羽どんと祭

黒羽商工会青年部など主催のどんと祭が、黒羽向町の那珂川河川敷で行われました。新春の恒例行事で、旧黒羽町が林業の町だったことから、やぐらも材木の古材や間伐材を使って組み上げるのが特徴です。地元住民らが持ち寄っただるまやしめ飾り、門松なども次々とやぐらに並べられ、弓道ガールズによって点火すると、炎が空高く上がり見事でした。集まった方たちは燃え上がる火に一年間の無病息災を祈りました。

1/12



1/13

「靈芝」入りパンや菓子開発

産学官連携新商品発表会



市の産学官連携推進委員会の研究グループ「与一の里キノコ研究会」（宗像達夫会長）は、健康維持に役立つ成分が含まれる靈芝を使ったパンや焼き菓子の開発を発表しました。

発売するのは、「靈芝入り薬膳グリッシーニ」と焼き菓子「同フィナンシェ」の2種です。グリッシーニは「ナチュラルベーカリー和音」が、フィナンシェは「焼きたて焼き菓子工房 Kabaco」が仕上げました。津久井富雄市長は「大田原ブランドの創出とともに地域活性化の起爆剤になると期待している」と述べました。

1/24

ありのままに今を輝く

市民力アップ講演会

那須野が原ハーモニーホールにおいて、男女共同参画推進事業者表彰式と、『ありのままに今を輝く～グローバル化時代の生き方論～』と題し、尾木直樹氏(尾木ママ)の講演会が満席御礼で開催されました。講演の中で尾木氏は、認めて褒めて育てることの大切さや、どんな時も笑顔でいること、怒りたいときも話を聞いて心を開いて共感することがいかに大切かを述べていました。来場者は、時に笑い、納得して頷きながら、会場は拍手の嵐に包まれました。



1/29  
~30

「将棋のまち」で10期連続開催

第64期王将戦七番勝負第三局



ホテル花月で開催された第64期王将戦七番勝負第三局は、大接戦の末、郷田真隆九段の勝利で幕を閉じました。28日(水)の前夜祭では市小中学校将棋大会の優勝・準優勝者を含む約150人が参加し、対局に挑む両棋士を激励しました。30日(金)の中村修九段と佐藤七段による大盤解説会は、朝から雪に見舞われる中、約80人が参加しました。来場した将棋愛好者たちは、佐藤七段と積極的に意見を交わし、活気のある解説会となりました。